

あんなこと、こんなこと

関市イメージキャラクター
「関*はもみん」



7月1日～15日にあった
市内の話題を中心に
ご紹介します。

自ら進んで命を救う手助けを

市は、心肺蘇生法とAED（自動体外式除細動器）の使用法を正しく学び、緊急時に対応できる技能を身につけてほしいと、市内中学1年生を対象に平成20年度から毎年講習会を開いています。この日は、小金田中学校1年生121人が受講。胸骨圧迫や人工呼吸などの一連の救命動作について、トレーニングキットを使って真剣に取り組んでいました。キットは家庭に持ち帰り、身近な家族などにも伝えて技術の習得に努めます。



国体記念切手で関市をPR!

郵便局株式会社が、ぎふ清流国体・ぎふ清流大会を盛り上げようと、市内郵便局で「SEKI ぎふ清流国体・清流大会」オリジナルフレーム切手を発売しました。この切手は両大会に全国から訪れる選手や関係者に、関市をPRするとともに開催記念となるようデザインされ完成。関市開催競技のミナモイイラストのほか、伝統の小瀬鶉飼、古式日本刀鍛錬、刃物をはじめ観光施設や特産品の写真が掲載されています。



地球環境について考えよう

地球環境について考え行動するイベント「アースデイせき2012」が、30歳代の市民を中心につくる同実行委員会主催で、市役所市民広場を会場に初めて開かれました。マイ箸やマイコップ作りをはじめ、有機栽培野菜の販売や飲食ブース、スローライフを呼びかけるバンド演奏など多彩な催しでにぎわいました。多くの来場者が、自然の大切さを実感し、環境問題を考えエコな生活に努める意識を高めました。



地域環境保全に顕著な功績

環境大臣から環境保全の取り組みが顕著な団体などに贈られる「地域環境保全功労者表彰」を瀬尻小学校が受賞し、児童代表が尾関市長に報告しました。同校は、PTA や地域と提携して長良川の水質検査や清掃活動、森林と川のつながりや生き物のつながりなどを継続的に学習しています。各学年が、アルミ缶リサイクル、カワゲラウォッチング、EM菌づくりなど、総合的に継続した学習が評価されました。



いのちをありがとう

男女共同参画社会を実現するため、主に父親を対象に子どもとの関わり方などを学ぶ「お父さんのための父親力UP！講座」が開かれました。出産シーンを写真に収めるバースフォトグラファーの松永知恵美さんが講演され「写真を通じて、家族がお互いを感謝する気持ちを持ってくれば」と話しました。参加者から「子どもが生まれた時の神聖な気持ちを思い出し、心が洗われた」などと声が聞かれました。



地域の結びつきが何よりの防災

校区内の危険箇所を把握し、自分たちの地域防災や地域のつながりを考えるPTA 地区懇談会が旭ヶ丘中学校で開かれ、支部委員や教職員、自治会長らが参加し、災害図上訓練で地域の問題点を確認しました。岐阜大学社会資本アセットマネジメント技術研究センター員を講師に、地図を囲んで、浸水の可能性がある通学路の確認や対応について話し合いました。今後「校区防災マップ」を作成し、防災意識を高めます。



つつる流しそうめん

日吉ヶ丘保育園の七夕会で「流しそうめん」をしました。園児らは、先生が流すそうめんをかわいい箸さばきですくい、おいしそうに食べていました。コップに山盛りにしてロー杯にほおぼる子や、そうめんをすくえなかった友達にあげたりする子など、ほほ笑ましい光景が見られました。流しそうめんて涼しさも増し、園児たちは「おうちで食べるより冷たくておいしい」と、とても満足そうな顔をしていました。

こぼれ話

皆さんは「広報せき」や市ホームページに広告が掲載されていることはご存じですか？市では自主財源の確保のために、有料で広告を掲載しています。この事業は平成20年から始まりました。年々少しずつですが広告を掲載していただけるお客さんも増え、平成23年度は広報紙とホームページ合わせて230万円ほどの収入がありました。経費節減はもちろんですが、お金を捻出することも大事なことです。

市広報紙やホームページへの広告掲載を希望される場合は、秘書広報課に申請していただき、市広告掲載要綱、掲載基準などを基に、広告掲載審査会の審査を経て掲載の可否が決まります。

広報せきは毎月29,500部を印刷し、各自治会を通じて市民の皆さんに配布されるほか、市内の一部のスーパー、病院、コンビニエンスストアに設置させていただいています。

広報紙などで、お店の紹介などの広告を掲載しませんか？詳しくは秘書広報課へお問い合わせいただくか、市ホームページ(<http://www.city.seki.gifu.jp/koukoku/>)をご覧ください。

